

5月14日（金）オンライン開催

第3回神戸大学SDGsフォーラム

大阪・関西万博が導く未来

～ 未来社会の実験場の実現を考える ～

# 大阪・関西万博に向けて 産学公共創でいのち輝く未来を拓く

一般社団法人

夢洲新産業・都市創造機構

代表理事 井垣 貴子

## ■ 設立経緯等

- **設立** 2020年3月（関西経済同友会の有志が設立した夢洲新産業創造研究会を引継ぐ）
- **趣旨・目的**
  - ① 万博や成長型IRと連携し、国際的な産学公共創による新産業創出と未来都市創造を促進するオープンイノベーション拠点の構築と持続可能なエコシステムの形成
  - ② 夢洲まちづくりのあり方、2050年を見据えた新しい価値観や社会・経済システム等未来社会像の研究
  - ③ 地域共生、産業育成、地方創生等に寄与する仕組みづくりとパートナーシップの促進
- **組織概要** 155を超える企業、大学、自治体等の会員が連携し “いのち輝く未来社会”と新産業創出を目指し、共創活動を進めている

## ■ 主な活動事業

当機構で取り組む事業	活動
(1)万博、成長型IR、夢洲まちづくりに関わる諸テーマについての調査、研究、提言	<b>部会活動</b> TEAM EXPO 2025 共創パートナー
(2)産学公共創オープンイノベーション拠点の構築・運営とエコシステムの創出	
(3)産学公共創による新技術や新サービスの実証、実装、事業化の支援	
(4)万博・夢洲まちづくりに関わる関係者、国、自治体、経済団体等との連携、協力	<b>提言提案・連携</b>
(5)情報発信、シンポジウムや講演会の開催、会員相互の研鑽や交流	<b>セミナー開催</b>

## ■ 夢洲ステークホルダーとの連携・協力

- 産学公共創による新技術や新サービスの実証、実装、事業化支援
- 万博・夢洲まちづくり等に関わる関係者や国、自治体、経済団体等との連携、協力
- 大阪府下の多くの自治体が入会し（現在22自治体）、大阪・関西万博を地域課題の解決や地域活性化に活用する産学公共創イノベーション・プラットフォーム
- 関西公立私立医科大学・医学部連合（8医科系大学）等医科系アカデミアとのネットワーク



## ■ 機構の活動を通して広がる共創フィールド（155団体超の会員組織）



## ■積極的な情報共有

万博に10名のプロデューサーが選定されたのを受け、大阪・関西万博をテーマとして各プロデューサーを招きセミナーを継続開催。

2020/8月～2021/5月迄に、セミナー・フォーラム計8回継続開催。いずれもウェビナーによるオンライン開催で、各回500名定員満席の申し込みあり。引き続き6月以降もセミナー・フォーラムをほぼ毎月継続開催。

**2020 8.3** オンライン 事前申込み  
10:00-12:00

EXPO 2025 大阪・関西万博

第1回夢洲新産業・都市創造セミナー<オンライン開催>  
『いのちを響き合わせる未来社会の共創～2025大阪・関西万博に向けて』  
主催：一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構

いのち輝く未来社会のデザイン  
Saving Lives  
Empowering Lives  
Connecting Lives

第1部 講演 10:00-11:05  
【講演】 宮田 裕華 氏  
講演テーマ：『いのちが響き合う『いのちの新世紀』へ  
大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー  
担当テーマ：『いのちを響き合わせる』

第2部 座談会 11:10-12:00

◆宮田 裕華 氏 慶応義塾大学 医学部教授 大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー  
◆澤 芳樹 氏 大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科教授  
◆深野 弘行 氏 伊藤忠商事株式会社専務理事 社長特命(関西担当) (一社)関西経済同友会代表幹事  
◆野田 義和 氏 大阪市長  
◆永野 耕平 氏 岸和田市長

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構事務局：株式会社健康都市デザイン研究所  
大阪市北区梅田3-4-5 5階 日創ビル6号 http://www.kenotoshi.com/ TEL:06-6136-8800 Email: info@yumeshimakou.com

**2020 10.6** オンライン (要事前申込)  
10:00-11:30

EXPO 2025 大阪・関西万博

第2回夢洲新産業・都市創造セミナー<オンライン開催>  
『いのちを拓げる未来社会の共創～2025大阪・関西万博に向けて』  
主催：一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構

いのち輝く未来社会のデザイン  
Saving Lives  
Empowering Lives  
Connecting Lives

第1部 講演 10:00-10:45  
石黒 浩 氏  
講演テーマ：『アパターと未来社会』  
大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー  
担当テーマ：『いのちを拓げる』

第2部 座談会 10:45-11:30

◆深野 弘行 氏 (一社)夢洲新産業・都市創造機構 理事 伊藤忠商事株式会社専務 理事 (一社)関西経済同友会 代表幹事  
◆石黒 浩 氏 大阪大学名誉教授 ATR白鷺特別研究所所長 大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー  
◆角 和夫 氏 阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長 グループCEO  
◆中田 祐典 氏 徳山山崎建設 執行 取締役本部長  
◆石川 智久 氏 株式会社日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター 所長

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構事務局：株式会社健康都市デザイン研究所  
大阪市北区梅田3-4-5 5階 日創ビル6号 http://www.kenotoshi.com/ TEL:06-6136-8800 Email: info@yumeshimakou.com

**2020.11.26** 10:00-11:50 (要事前申込)

EXPO 2025 大阪・関西万博

第3回夢洲新産業・都市創造セミナー<オンライン開催>  
『いのち輝く未来社会デザイン共創～2025大阪・関西万博に向けて』  
主催：一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構

第1部 講演 10:00-10:50  
森 清 氏  
公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会  
副事務局長(理事)  
講演テーマ：大阪・関西万博の最新動向  
～世の中を変える動きを創り出す新しい万博に！  
1963年生まれ。東京大学法学部1年、ハーバード大学行政大学院卒業。1986年通商産業省(現経済産業省)入省。中興やアパターを中心とする通商政策やエネルギー政策に11年。インターネット発達の国際的な政策議論に年次参加した後、2017年から通商政策局長として、万博誘致の機運醸成に専念。半年から観望(経済産業省からの出向)、京都府庁出身。

第2部 座談会 10:55-11:50

◆コソジユンコ 氏 デザイナー 公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 シニアアドバイザー  
◆森 清 氏 公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 副事務局長(理事)  
◆伊藤忠商事(株)専務理事 (一社)関西経済同友会 代表幹事 2025年日本国際博覧会協会 副会長理事  
◆石川 智久 氏 (株)日本総合研究所 調査部 マクロ経済研究センター 所長

コソジユンコ 氏  
デザイナー  
公益社団法人 2025年  
日本国際博覧会協会  
シニアアドバイザー

森 清 氏  
公益社団法人  
2025年日本国際博覧会協会  
副事務局長(理事)

深野 弘行 氏  
伊藤忠商事(株)専務理事  
(一社)関西経済同友会 代表幹事  
(一社)夢洲新産業・都市創造機構 理事

石川 智久 氏  
(株)日本総合研究所  
調査部 マクロ経済研究センター 所長  
(一社)夢洲新産業・都市創造機構 理事

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構事務局：株式会社健康都市デザイン研究所  
大阪市北区梅田3-4-5 5階 日創ビル6号 http://www.kenotoshi.com/ TEL:06-6136-8800 Email: info@yumeshimakou.com

**2021.1.18** (月)

EXPO 2025 大阪・関西万博

第4回夢洲新産業・都市創造セミナー<オンライン開催>  
『いのちを響き合わせる未来社会の共創～2025大阪・関西万博に向けて』  
主催：一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構

第1部 講演 15:30-17:15  
石黒 浩 氏 澤 芳樹 氏 角 和夫 氏 宮田 裕華 氏

第2部 講演&パネルディスカッション 17:20-18:45  
宮田 裕華 氏 石黒 浩 氏 澤 芳樹 氏 木村 博 氏

第3部 WAKAZOパネルディスカッション 18:50-20:00  
石黒 浩 氏 深野 弘行 氏 宮田 裕華 氏 木村 博 氏

登壇者ご紹介

石黒 浩 氏  
大阪大学名誉教授 ATR白鷺特別研究所所長 大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー  
担当テーマ：『いのちを拓げる』

澤 芳樹 氏  
大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 心臓血管外科教授 (一社)日本再生医療学会 理事長  
(一社)健康国際化推進機構 理事長 (一社)Jesochi未来プロジェクト 理事長

角 和夫 氏  
阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長 グループCEO

宮田 裕華 氏  
慶応義塾大学 医学部教授 大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー  
担当テーマ：『いのちを響き合わせる』

深野 弘行 氏  
伊藤忠商事株式会社専務理事 社長特命(関西担当) (一社)関西経済同友会代表幹事

野田 義和 氏  
大阪市長

永野 耕平 氏  
岸和田市長

木村 博 氏  
株式会社健康都市デザイン研究所 代表取締役社長  
担当テーマ：『いのちを響き合わせる』

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構  
大阪市北区梅田3-4-5 5階 日創ビル6号 TEL:06-6136-8800  
事務局：株式会社健康都市デザイン研究所 (連絡先)https://yumeshimakou.com/ (事務局)info@yumeshimakou.com



## ■ 各部会の活動領域と2021年度取組内容

部会	活動領域／取組内容(2021年度)
第1部会	<p><b>エンターテイメント・スポーツ・アクティビティ領域</b></p> <p>2025年に世界から注目を集める夢洲をエンターテイメント・スポーツ分野の「<b>新たなエコシステムを創造する聖地</b>」にしたい。そのための調査・研究活動を行う。</p>
第2部会	<p><b>ホスピタリティ・観光・Well-Being領域</b></p> <p><b>Well-Being</b>を起点に最先端技術と産学公のネットワークを駆使し顧客体験価値の向上を実現し、夢洲・万博で「<b>魅力ある滞在型観光の実現</b>」と「<b>経済的社会的効果の創出</b>」のアイデアを実証・実装する。</p>
第3部会	<p><b>都市魅力創造・MICE領域</b></p> <p>夢洲全体としてシームレスで統一感のあるサステナブルなまちづくりに向けた夢洲型イノベーションプラットフォームを構築する。</p>
第4部会	<p><b>万博（Society5.0・SDGsなど）領域</b></p> <p>誰もが参加でき、楽しめる視点を持ち、<b>関西の強み（伝統文化や地場産業）とITを融合させ、万博を活用した課題解決（SDGsの目標達成）に向けたビジネス</b>を検討する。</p>
第5部会	<p><b>地域経済発展・産学公共創領域</b></p> <p>夢洲を起点とした<b>周辺地域全体の発展</b>と、万博・IRにおける<b>周辺地域への波及効果を最大限に活かす</b>ことができるよう、産学公が連携して地域経済の活性化に寄与する、</p>

## 第1部会 エンターテインメント・スポーツ・アクティビティ領域

### 取組概要

2025年に世界から注目を集める夢洲をエンターテインメント・スポーツ分野の  
**「新たなエコシステムを創造する聖地」**にしたい。  
そのための調査・研究活動を行う。

### 活動内容

#### ➤ 新たなエコシステム創出に向けて、フォーカスをあてる領域

- ▶ WG活動の推進 議論の中で生まれたテーマでWGを組成。  
少人数で議論を深めアイデアの具体化、実証実験の可能性を検討。

WG	フォーカスをあてる領域
エンタメ空間の創出WG	万博に向けて新たなユーザエクスペリエンスの創出
新たなスポーツWG	最新技術とスポーツとの融合

#### ➤ テーマを地域の魅力を創出するような「伝統・文化・芸術」といった領域にも拡大

#### ➤ まなびの機会の創出

各社が有する技術、取組みなどについて、見学会や説明会を行うことで、学びの機会を増やし、エコシステム創出に向けたヒントを得る活動を増やす

## 第1部会 エンターテインメント・スポーツ・アクティビティ領域

### 活動内容

#### 【エンタメ空間の創出WG】

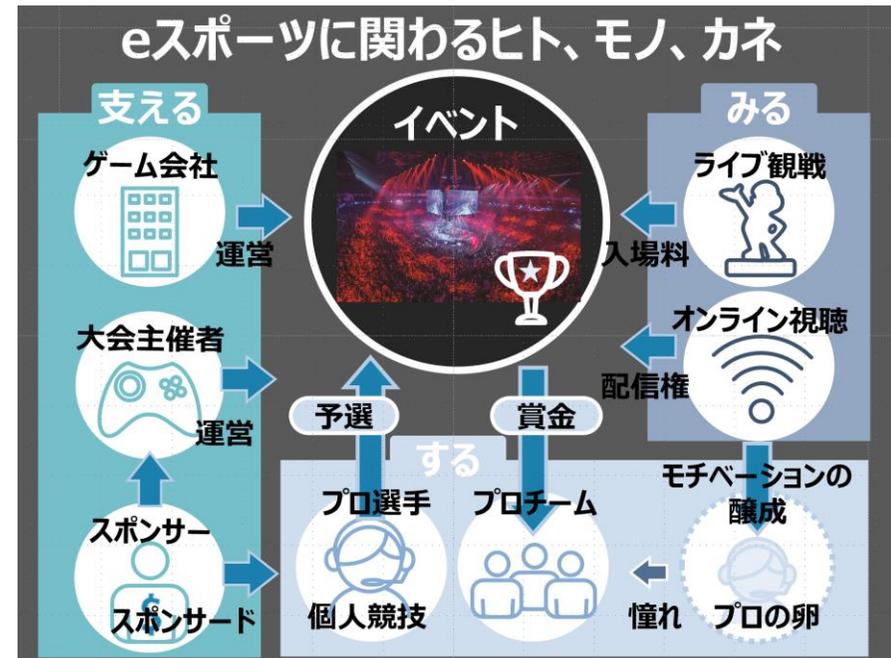
2024年度に「エンタメフェスタ」の開催と共に、SSMRやARなど最新技術を活用した回遊型イベントを行うことを検討（SSMRコンソーシアムに入会）。



万博のサテライト会場として、また万博終了後は万博レガシーとして定期開催も視野。

#### 【新たなスポーツWG】

最新技術とスポーツの融合によるビジネス化を検討。  
今年度中に実証実験の着手を視野に入れて検討。



## 第2部会 ホスピタリティ・観光・Well-Being領域

### 取組概要

**Well-Beingを起点**に最先端技術と産学公のネットワークを駆使し  
 顧客体験価値の向上を実現し、夢洲・万博で  
**「魅力ある滞在型観光の実現」と「経済的社会的効果の創出」**の  
 アイディアを実証・実装する

### 活動内容

**【『inochi』提案具体化WG】** 当部会メンバーが万博PLLに提案したWell-Being関連3提案を「inochi未来プロジェクト」として融合させ、万博パビリオンとして実装していくための活動。

PLL応募グループ	応募タイトル
inochi未来コンソーシアム	inochi_PLL未来創造プロジェクト
関西医科大学	世界の子ども達がつくる未来の健康創成社会
夢洲機構 第2部会	バリューベースド・ヘルスケア・リビングラボ

1月にキックオフを実施、共創開始。



2025万博パビリオンへ実装  
**万博／inochi未来館**

2025年までに取り組むべき技術トライアルや仕掛け、レガシーなどを提案し万博への実装を目指す。

## 第2部会 ホスピタリティ・観光・Well-Being領域

### 活動内容

#### 【オープンイノベーションWG】

■うめきた、健都、神戸医療産業都市などのインキュベーター施設や機能の現状把握、関西圏の大学等が有するシーズの事業化を支援するプラットフォームの構築、交流・情報発信の拠点づくり



■機構メンバーやアカデミア・企業のもつシーズを、万博の開催目的であるSDGsの目標ごとに集約、機構が登録したTEAM EXPO 2025『共創パートナー』事業と寄り添い、活動。マッチングを行うために必要な機能・支援の在り方につき、研究・開発

関西圏ライフサイエンスのハブ

- 彩都**  
 ライフサイエンス関連企業が集積。ベンチャーのためのインキュベーション施設も整備
- 健都**  
 「健康と医療」をコンセプトに、国立循環器病研究センターを核とした拠点を形成



- うめきた**  
 創薬当支援機関が集約 (AMED創薬戦略部・PMDA関西支部)
- 中之島**  
 再生医療をベースとした未来医療国際拠点の形成に向け検討中
- 神戸医療産業都市**  
 ポートアイランドに先端医療技術の研究開発拠点を整備し、医療関連産業を集積

#### 【コロナ下での集客・観光WG】「コロナ後に元に戻るか？」

■観光や地域経済をはじめ、生活様式や価値観にも大きな変化が起きている。

グループ	キーワード	内容
A：誘客・広報チーム	多様性	リアルの大切さ、アクティブ回帰などの再確認
B：集客観光支援チーム	DX for CX	個客の体験価値 = CX = を高めるためのDXが進展
C：交通インフラ・商社チーム	付加価値の創造	新時代の「移動」を観光の一要素として再定義
D：自治体・インフラチーム	マインド・シェアの向上	着地型観光選択肢の拡大へ有効な情報発信とは



Afterコロナでの集客・観光を検証、あるべき顧客体験価値を見極める。WGメンバーにより披露された知見を共有・結集し、アフターコロナで変化するトレンドを捉えた課題解決アイデアを共創フィールドへ提供

## 第3部会 都市魅力創造・MICE領域

### 取組概要

夢洲全体として  
シームレスで統一感のあるサステイナブルなまちづくり  
に向けた夢洲型イノベーションプラットフォームを構築する。

### 活動内容

	設定テーマ	活動内容
①	スマートシティ	情報プラットフォーム基盤を活用したエリア連携
②	モビリティ	域内交通のエンタメ化
③	環境デザイン	緑あふれる環境デザイン
④	MICE	MICEを通じた地域活性化
⑤	安心・安全	防災・防犯



ゲイブ・イノ社website : press kitより抜粋

### 【各社の先端的取組の研究】

各社で進められている先端的取組を体験・体感したり、レクチャーを企画して、参加企業同士のビジネスマッチングにつなげることを企図しています。  
(関西電力 iino試乗会等)

当部会では研究に留まらず、この機構をプラットフォームとしたマッチングや連携等により各社が新分野に進出いただける役割を担う。

## 第3部会 都市魅力創造・MICE領域

### 活動内容

#### 【5つの設定テーマからWGとして深堀する内容を検討】

スマートシティやモビリティ分野で興味を持つ企業が多く、今後WGとして活動を進めていく準備を進める予定。「エンタメ×モビリティWG」の立ち上げなどを調整していく。

#### 【各社PLL提案からピックアップしてWGとして議論を推進】

具体的な題材をもって議論を進めていくため、万博を題材にして、各社が提案しているPLL提案からピックアップしてWGで議論。

#### いのちの森WG（WGリーダー：住友林業/健康都市デザイン研究所）

昨年3月に万博PLLに提案した内容を発展させた「いのちの森」を踏まえ、基本計画に設定されている「静けさの森」等への提案検討を進める。

#### MaaS WG（WGリーダー：大日本印刷（DNP））

パーソナルデータ連動型MaaSに関する検討を進める。  
自治体向けに「モビリティポート」についても深堀検討予定。



人の移動・交流が交差する“にぎわい”の創出  
DNP作成「モビリティポートwith中核商業施設」構想

**これらの活動を通じ、具体的に各社ビジネスとして落とし込み、万博やIRでの実装を目指す**

## 第4部会 万博（Society5.0・SDGsなど）領域

### 取組概要

誰もが参加でき、楽しめる視点を持ち、  
**関西の強み（伝統文化や地場産業）とITを融合させ**  
**万博を活用した課題解決（SDGsの目標達成）に向けた**  
ビジネスを検討する

### 活動内容

万博・SDGsを通じた関西活性化のため、大阪・関西がSDGs先端地域となり、世界に輝く都市圏となるために何が必要か、その中で万博を活用した**ビジネスのあり方、考え方**を検討していく。

**EXPO 2025**

**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

- 万博をフィールドとしたSDGsビジネスと社会実験
- 万博を触媒とした関西の強みとITへの挑戦
- 「いのち輝く未来社会」に相応しいライフサイエンス産業のあり方
- 令和時代のリーディング産業・新技術の創出/関西経済への貢献
- 産官学の連携強化とレガシー形成

### 【万博PLLへ提案実施】

当部会から万博PLへ「**こどもたちにとって楽しい万博、だれもが主役となれる万博**」を提案。  
イノベーションを通じた関西経済活性化への期待が高まっている中、大人だけで完結せず、  
次世代を担うこどもたちが楽しい、主役になれる万博の在り方を検討。

**People's  
Living Lab**

## 第4部会 万博（Society5.0・SDGsなど）領域

### 活動内容

#### 【ワーキンググループでの議論】

- 議論を活性化させるため、部会内にWGを設置
- それぞれの議論内容は部会で共有
- 万博協会への提言などをゴールに活動する

WG間で共有すべきキーワード

「世界の子供たちに向けて」



	WGテーマ
①	SDGs（いのち領域）
②	SDGs（新産業領域）
③	SDGs（その他）
④	会場内イベント
⑤	リモートアクセス

#### 【メンバー間で各々の企業の取組の理解を深める】

- 各会員企業での万博関連の取り組み事例を当部会でプレゼン機会を設置
- 会員による視察等も検討

#### 【活動の多様化】

- 部会参加企業の部会に対する期待を明確化し、成果を最大化する方法を探る
- 万博協会や府市との連携の機会を検討

**メンバー間で化学反応を促進し、万博を活用した課題解決に向けたビジネスを生み出す**

## 第5部会 地域経済発展・産学公共創領域

### 取組概要

夢洲を起点とした周辺地域全体の発展と、  
万博・成長型IRにおける周辺地域への波及効果を最大限に活かすことができるよう、  
産学公が連携して地域経済の活性化に寄与する

### 活動内容

#### 【地域経済発展領域】

- 万博及び万博後もIRによる雇用・資材調達・地域への送客等の情報を、周辺地域と共有  
⇒ 地域自治体も関心があるも、積極関与には情報が不足している。万博等とともに成長し、発展できるように、自治体との情報交換を積極的に実施
- 周辺自治体と民間との情報交換・共創イベント  
⇒ 事業者決定後には資材や人材、地域送客の情報など、周辺地域に提供するとともに、情報提供を行えるプラットフォームを検討

#### 【産学公共創領域】

- 万博で実証・実装される新産業の研究を共有し、コロナ禍での新たなライフスタイルの変化・動向を把握
- 万博の理念を継承した夢洲のまちづくりを踏まえ、Well Beingや周辺地域の特性に応じた未来社会を実現するための産学公共創による公益的な研究
- 本機構と連携したい自治体・地域企業とのビジネスマッチングの場を創造  
⇒ 万博での新たな産業の共有や、コロナ禍でのライフスタイルの変化も意識しつつ、周辺地域での未来社会の実現に向けて産学公共創で研究を行う

### 東大阪市魅力発見ツアー

日時：R2年11月25日（水）

場所：高井田地区東大阪市産業技術センター & 周辺企業

（訪問先：株式会社カツロンさん、株式会社電業さん、山本光学株式会社さん）

背景：「東大阪市地域資源棚卸シート」から、地域資源の洗出しを議論した。

⇒結果、観光資源としても、国道日本最急傾斜の暗峠、石切神社、花園ラグビー場、色々存在するものの、今回は、「モノづくり企業集積のまち」を取り上げた。

70年万博時にもイノベーションを起してきた中小企業の知恵と技術を学ばせて頂き、2025万博へのイノベーションへの繋げていくには？を検討

感想：なぜ、東大阪市が「モノづくりのまち」といわれるようになった背景や歴史にも学び、参加者からは、100年の歴史をもつ企業が新たな取組みにチャレンジしている姿勢、日々イノベーションを起そうと日夜努力されていることに、目から鱗が落ちる思いでした。日本のインフラを陰で支えている重要な基幹製品を作っておられていることにも感動しきりでした。

※お金を出してでも経験出来ないプライスレスな体験も本機構では出来ます！



いっしょに、いこな！  
大阪・関西万博



### 岸和田市魅力発見ツアー

日時：R2年11月5日（日）

場所：岸和田駅（集合）～岸和田カンカンベイサイドモール～みなとマルシェ～きしわだ自然資料館  
～紀州街道の街並み～岸和田城～だんじり会館（意見交換会議）～五風荘（解散）

背景：部会の中で「**岸和田市地域資源棚卸シート**」を作成し、岸和田市に存在する  
地域資源を洗い出し、更なる魅力を増進していくには？を議論。

⇒現地訪問による体感で実りある議論につなげたいということで、現地視察を敢行

感想：岸和田市には観光資源が多く、またポテンシャルも高い。ドイツのハイデルベルクの古城など  
モデル都市を見つけ、何か付加すべきか？ 街並みは風情がある。関空と大阪空港の中間にあり、  
足を停めるまちにするには？ 歩ける範囲に観光コンテンツも多いので体験ストーリーがあれば。  
「泉州もの」のよい食材をブランド化するべき。等々、検討材料も多く集まった。  
永野市長からは、万博・IRに関して、自治体でも温度差がある。「岸和田市はこう変わるんじゃないか」  
という案を出してもらいたい。他の自治体から見て、「あれ、ええなあ。」と言われるような案を。  
岸和田市を実証実験の場にしていただきたい。というコメントを頂いた。

17

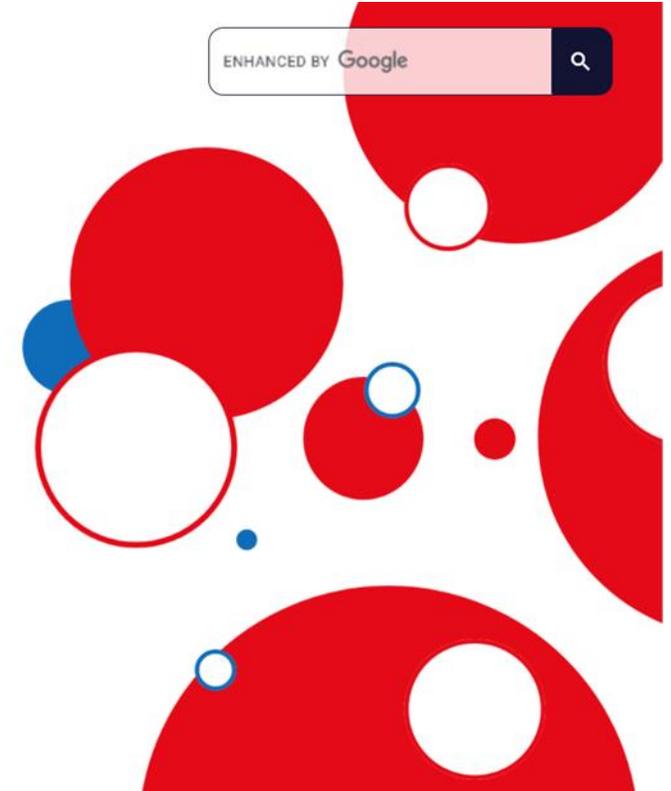




TEAM  
EXPO  
2025

見るだけじゃない、  
あなたが主人公になる万博がはじまります。

「TEAM EXPO 2025」は多様な人たちがチームを組み、多彩な活動で大阪・関西万博とその先の未来に挑む、みんながつくる参加型プログラムです。



出展：万博協会の公式サイト

## ■「共創パートナー」として登録

当機構は「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナーに4月15日付けで登録されました。「TEAM EXPO 2025」プログラムは、SDGsの達成に貢献するために、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に作り上げていくことを目指す取組みで、これは当機構の活動と軌を一にするものでもあります。

## ■「共創パートナー」活動テーマ

### 「Road to 2025 ～いのち輝く未来社会へ向けた2025のアクション～」

5つの部会活動や、参画会員の単独あるいは共創グループが万博やSDGsのテーマ実現のため、2025年までに2025個の取り組みを行います。これらの取り組みは当機構ホームページに登録（プラットフォーム）していき、共創基盤として活用していきます。

## ■「共創パートナー」としての活動

### 共創チャレンジを支援する活動として次のリソースを提供

- ①ホームページを活用したSDGs情報発信プラットフォーム
- ②機構の会員企業・自治体・アカデミアとの共創フィールド
- ③各ステークホルダーとのネットワーク
- ④シンポジウムや交流会でのプレゼン機会・ピッチ開催等

### 機構の活動を通じた共創チャレンジテーマの創出

- ①機構会員各企業それぞれの事業領域の中での取り組み
- ②機構の事業活動の一環としての取り組み
- ③部会活動、ワーキング活動の取り組み



- **世界の分断を止める**：人種・国籍を超えて地球人としての自覚を持つ  
→「月の石」をみると「自分は地球人」と思う
- **デジタル・ネットの世界と、リアル・アナログの世界**の両立
- **東洋・日本文化と思想**を世界の多様な文化の中に位置づけ、未来に向けて創造する
- **真に多様な社会を作る**  
(全人類が幸せになるためには多様な社会が必要であり、それに奉仕するのが技術進歩)
- **関西でしかできない万博を開催**  
(社会課題の解決と関西の文化・歴史資産、エンターティメント性の両立)
- **共感、共有、参加型の万博**



宮田 裕章 氏



石黒 浩 氏



藤本 壮介 氏



落合 陽一 氏



小山 薫堂 氏

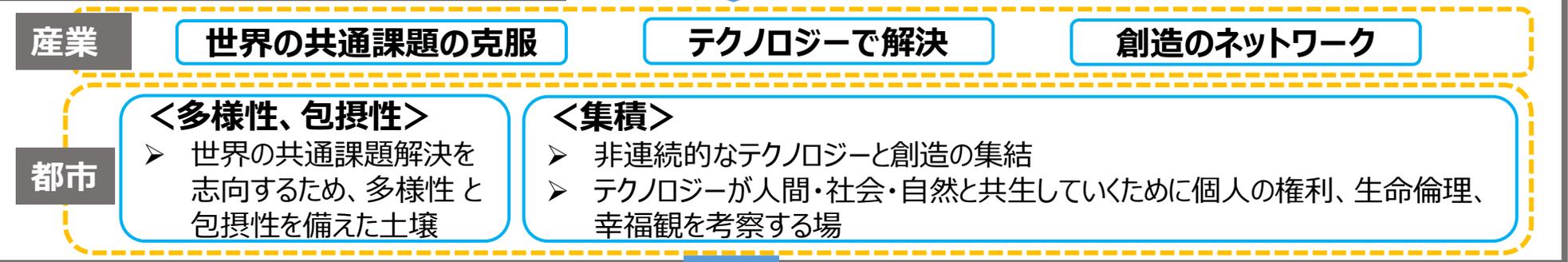


河森 正治 氏

## 2050年の世界

- **世界の共通課題**：拡大する人口、高齢社会、気候変動、パンデミックなどで、**生命**そのものが問われる。
- **国際情勢**：米中が経済・技術開発で二分。各国でデータ管理・活用などに関わる**個人の権利**が問われる。
- **テクノロジー**は、**経済発展のキードライバー**となる一方で、超格差社会や超管理社会の出現が危惧され、ゲノム編集など**生命倫理**そのものが問われる。
- 人間の老や病の問題が大幅に改善されることで、人間の**幸福観**も問われる。

## 2050年の世界に求められる都市の姿



## 2050年の KANSAI

### 2050年の世界で求められる KANSAI の都市像：いのち輝く都市

- **「命」の尊厳を尊重**：  
2050年の世界で問われる**「生命そのもの」「個人の権利」「生命倫理」「幸福観」**を尊重。
- **非連続的なテクノロジーを梃にして、世界の共通課題を克服**：  
**非連続的なテクノロジーの創造と産業化**によって、生命そのものが問われる**世界の共通課題を解決**。
- **新たな社会を共創する**：**多様性**と**包摂性**を備えた土壌のもとで、**多様なプレイヤー**が新たな社会を作り上げる。

## 考察点

**2025年大阪・関西万博の開催**  
 <テーマ>  
 いのち輝く未来社会のデザイン

はじめに

・当委員会は、前身の委員会を含め、2050年のKANSAIの未来都市像について検討を進めてきた。  
・議論の進め方として、「2050年の世界」を模索し、非連続に発展するテクノロジーを想起しながら、求められる都市像を描き、そこからバックキャストする形で近い将来までに何をすべきかを考える、といった手法を取った。  
・未来の都市像は複層的で多様で全容を詳らかにするのは困難である。今回はその中で特に、2025年万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」という理念が、コロナ以前より深い意味を持つという問題意識から、2050年の世界で KANSAI に求められる都市像は、「命」の尊厳を尊重し、非連続的なテクノロジーを礎にして、世界の共通課題を克服した新たな社会を共創する「いのち輝く都市」とした。  
・具体的には、「KANSAIの未来への資源」を整理し、KANSAIが強みを持つ高度医療や多様な産業が関連する次世代のヘルスケア分野を切り口に、技術や産業群を分析し、「今なすべき必要な提言」を行うこととした。

1. 2050年の世界

・世界の共通課題は、拡大する人口、高齢社会、気候変動、パンデミックなどがあり、**生命そのもの**が問われる。  
・国際情勢では、米中が経済・技術開発で二分。各国でデータ管理・活用などに関わる**個人の権利**が問われる。  
・テクノロジーは、世界の共通課題を解決し、**経済発展のキートン**となる一方で、超格差社会や超管理社会の出現が危惧され、ゲーム編集などバイオテクノロジーの進展によって、**生命倫理そのもの**が問われる。  
・人間の老や病の問題が大幅に改善されることで、単に健康だけではなく、人間の**幸福観**も問われる。

(1) 世界の共通課題

**拡大する人口**：世界の人口は、77億人(2019)から97億人(2050)。アジアの人口は、43億人(2019)から49億人(2050)。食料や資源の確保が課題になる。  
**高齢社会**：世界の高齢化率は、7.9%(2015)から16.7%(2050)に増加。アジアは7.2%(2015)から18.0%(2050)と増加し、健康長寿が課題になる。  
**気候変動**：温暖化と都市化が相まって、災害による人的・経済的被害は増大する。カーボンニュートラルの達成、都市のレジリエンスが課題となる。  
**パンデミック**：周期的に未知のウイルスによるパンデミック(例：新型コロナウイルス、SARS、MARS)の発生が見込まれ、パンデミックを抑制する**防疫**が課題になる。

(2) 国際情勢

**世界経済**：2030年～50年は米中GDPが伯仲する。テクノロジー分野で投資・輸出規制を通じて米中デカップリングが想定され、社会実装・技術開発のスピード競争が激化。一方で、アジアを含む新興国が興隆し、各国とも米中との関係バランスと、新興国の成長市場の確保が課題になる。  
**個人の権利**：米中の争いは価値観(民主主義・自由社会 vs 国家社会主義・管理社会)にも波及。各国でデータ管理・活用などに関わる**個人の権利**が問われる。

(3) テクノロジー

**非連続的なテクノロジー**：AI、データ解析、ロボティクス、アバター、バイオテクノロジーなど、非連続的なテクノロジーが**世界の共通課題を解決する可能性**がある一方で、「超格差社会」、「超管理社会」の出現や**生命倫理の危機**をもたらす可能性もある。【図表1】

(4) 人間

**幸福観の変化**：「生老病死」の問題は、医学・テクノロジーの進歩で、老と病を中心にかなり解消され、幸福(well-being)の定義も変わり、単に「健康」だけではなく、**新たな「幸福観」**を個人が見出す。

【図表1】非連続的なテクノロジーと正/負のインパクト

非連続的なテクノロジー	正のインパクト	負のインパクト
・AI	・超効率化、自動化 AI×ロボットによる効率化	・超格差社会の出現 富のロングテール化、少数の上位層と多数の下部層
・データ解析	・個別ニーズの超最適化 データ解析による最適化	・超管理社会の出現 データ収集する企業や機関の優位性
・ロボティクス、アバター	・年齢、性、空間などを超えた活動 アバターによる仮想空間利用	
・バイオテクノロジー	・医療/健康分野等の革新的発展 難病治療、疾病の超早期発見 超長寿化	・生命倫理の危機 富裕層による人類の種分化 医療・健康の不公平の拡大

2. KANSAIに求められる都市像 ～「いのち輝く都市」

2050年の世界で、存在感を発揮していく産業や都市は、**個人の権利、生命倫理、幸福観を考察**しつつ、**多様なプレイヤー**が経済発展のキートンとなる**非連続的なテクノロジー**を創造することで形成。

(1) 産業

**世界の共通課題の克服**：特に、内需の成長に限界がある先進国では、世界の共通課題の解決を志向。  
**テクノロジーで解決**：AI、データ、ロボティクス、バイオテクノロジーなど非連続的なテクノロジーで解決。  
**創造のネットワーク**：高度化・複雑化するビジネスでは、1社だけではなく、海外企業、ベンチャー・スタートアップを含む多様で複数主体の協力で解決。

(2) 都市

**多様性、包摂性**：世界の共通課題の解決を志向するためには、人種、ジェンダー、年齢などを超えた**多様性**と**包摂性**を備えた土壌が前提となる。  
**集積**：産業を形成する「人、モノ、カネ、情報」のリアルな集積は必要であり続ける一方で、バーチャル空間も利用した「非連続的なテクノロジーと創造の集結」が鍵となる。また、テクノロジーが人間・社会・自然と**共生**していくため、**個人の権利、生命倫理、幸福観を考察**する場が必要。



2050年のKANSAI

2050年の世界で求められるKANSAIの都市像：いのち輝く都市

「命」の尊厳を尊重：2050年の世界で問われる「**生命そのもの**」「**個人の権利**」「**生命倫理**」「**幸福観**」を尊重。  
**非連続的なテクノロジー**を礎にして、**世界の共通課題を克服**：**非連続的なテクノロジーの創造と産業化**によって、**生命そのものが問われる世界の共通課題を解決**。  
**新たな社会を共創**する：**多様性と包摂性**を備えた土壌のもとで、**多様なプレイヤー**が新たな社会を作り上げる。

・かつて、大阪では「天下の台所」、「東洋のマンチェスター」と呼ばれ、「流通と金融」「製糸業」とそれぞれの時代の最先端の産業から由来。  
・2025年大阪・関西万博の開催 テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン

3. KANSAIの未来への資源

(1) **テクノロジー**：産業のすそ野は広く、特に医療・ヘルスケア分野に最先端の技術シーズが存在。リーディング産業を生み出して、同時に、他の関連産業も高度化していくことが可能。【図表2】

【図表2】KANSAIの非連続的なテクノロジーの土壌

医療・ヘルスケア	環境・エネルギー	ロボット
<b>次世代の高度医療、難病治療</b> ・遺伝子の異常が原因となるがんや筋ジストロフィーなどの難病治療(遺伝子治療) ・iPS細胞等による身体不全の完全回復(再生医療) ・体質や遺伝情報に応じた個別化医療 ・ナノ粒子による抗がん剤投与 <b>医療行為の超効率化</b> ・診断・治療・投薬の自動化、遠隔医療 <b>疾患の超早期発見・予防</b> ・パーソナル・ライフ・レコードの活用 ・生体情報の計測のためのセンシング技術 ・生活、運動習慣へのレコメンド	<b>ゼロエミッション</b> ・再生可能エネルギー、水素技術の利用(水素発電、水素船など) ・温室効果ガスを回収、資源転換 ・バイオマスから作られたバイオエネルギー、バイオプラスチック <b>高度なエネルギー管理</b> ・VPPIによるエリア内分散電源の統合協調管理	<b>AIとロボットの共進化</b> ・多様な情報伝達手段を用いて対話できる、社会性を持つ自律型ロボット ・地球外資源など厳しい環境における自律的な探索、探掘 ・創業や技術開発の自動開発 <b>物理制限からの解放</b> ・身体的能力、認知能力及び知覚能力をトップレベルまで拡張できる技術 ・多数のアバターとロボットによって、大規模で複雑なタスクの実行と基盤整備
<b>非連続的なテクノロジーの土台</b> AI、ビッグデータ、ロボティクス、バイオテクノロジー、バーチャル空間利用...	<b>レジリエンス</b> <b>確度の高い予測と予知</b> ・リアルタイムで高性能な計測 ・南海トラフなど巨大地震の予知 <b>次世代の防災</b> ・耐震インフラ・住宅 ・リスクの債権化 <b>避難・復興</b> ・最適な避難ルートの提示、誘導 ・ドローンや自動配送車などによる救援物資の最適配送	<b>観光/エンターテインメント</b> <b>先進的なエンターテインメント</b> ・VR/ARと伝統芸能を融合した革新的なエンターテインメント ・3Dホログラム技術による完全仮想環境の確立 シームレスな観光体験 ・リアルタイムの観光計画のレコメンド
<b>モビリティ</b> <b>シームレスな移動の実現</b> ・完全無人自動運転技術 ・人流、交通データの解析やレコメンド ・空飛ぶ車等の新しいモビリティ <b>ロジスティクスの最適化</b> ・ドローン、トラックの隊列走行	<b>金融</b> <b>金融とテクノロジーの融合(フィンテック)</b> ・デジタル通貨、デジタル証券	

(2) 環境：既存の集積(医療・ヘルスケア)、アジアの将来との近似性、大阪・関西万博など、医療・ヘルスケア分野にアドバンテージがある。

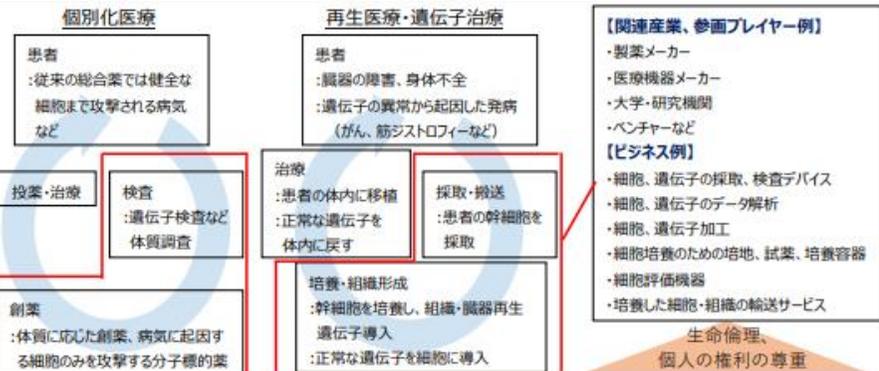
- 国内有数の都市・産業・研究拠点が京阪神を中心に広く存在
  - 非連続的なテクノロジーや共創のネットワークの核となる枠組み(特に医療・ヘルスケア分野)
  - 京阪神を中心に、大学発のベンチャーやスタートアップなど起業家群が点在する。
- 宗教、哲学、思想、倫理などのバックボーン
  - KANSAI が持つ歴史や文化を背景に、テクノロジーの実装と個人の権利や生命倫理のバランス、幸福観を研究する拠点が存在。
- 成長市場であるアジアの将来との近似性
  - KANSAI は、健康長寿や高齢化という課題解決による経済発展が世界から期待されている。
  - 将来的に人口構成が KANSAI と近似するアジア各国のリーディングモデルとなる。
- 大阪・関西万博を契機にした産業形成
  - 世界の叡智・知見の集結、新技術の実証・実装という絶好の機会を利用して、世界共通の課題、とりわけ医療・ヘルスケア分野の取り組みが加速。

4. KANSAI 未来都市のリーディング産業イメージ

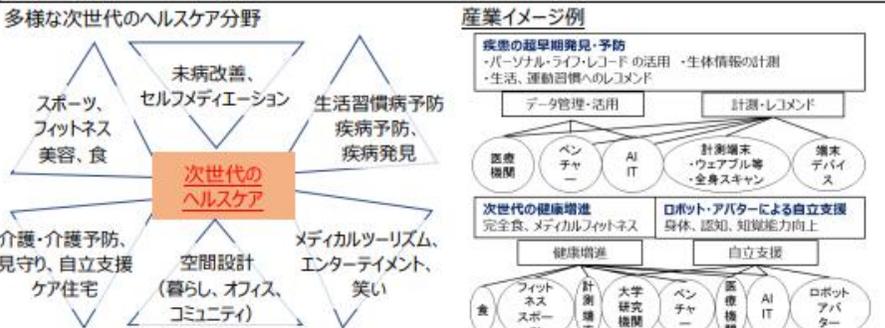
高度医療や次世代のヘルスケア分野において非連続的なテクノロジーを根拠として、世界の共通課題の解決を実現する産業を確立する。同時に KANSAI 内にも実装を試み、アジア諸国など健康長寿を今後課題とする各都市のリーディングとなる「いのち輝く医療・ヘルスケア先端都市」を共創。



個別化医療、遺伝子治療、再生治療、脳研究を応用した医療などの高度医療では、根本的な治療を可能にする一方で、「人間とは何か」が問われる。生命倫理(遺伝子編集の倫理制約など)や個人の権利(生体情報の保護など)を尊重しつつ、関連産業を創出。



次世代のヘルスケア分野は、産業のすそ野が広く、社会や人への実証・実装を通じて、多様な産業を生み出し、新たな幸福観に対応が可能。例えば、ロボット・アバターによる自立支援(高齢者や障害者の身体、認知、知覚能力向上)など、多様で包摂的な社会形成と経済発展の両立の一助となりうる。



5. 提言

「いのち輝く都市」へのトランスフォームを進め、KANSAI の持続的発展を共創するため、以下 4 つを提言。

(1)「いのち輝く都市」を世界に宣言し、KANSAI のトランスフォームを促進

- 2050 年の世界から導かれた KANSAI 未来都市像として「いのち輝く都市」を宣言する【行政】
  - 「命」の尊厳を尊重
  - : 2050 年の世界で問われる「生命そのもの」「個人の権利」「生命倫理」「幸福観」を尊重。
  - 非連続的なテクノロジーを根拠として、世界の共通課題を克服
  - 非連続的なテクノロジーの創造と産業化によって、生命そのものが問われる世界の共通課題を解決。
  - 新たな社会を共創する
  - : 多様性と包摂性を備えた土壌のもとで、多様なプレイヤーが新たな社会を作り上げる。
- 「いのち輝く」というキーメッセージを中長期的な政策や活動(産業振興、街づくり、経済団体での議論、企業の長期投資)にビルト・インし、「いのち輝く都市」へ KANSAI をトランスフォーム【行政・経済界・アカデミア】

(2)大阪・関西万博を契機としたロードマップ(医療・ヘルスケア分野)の作成・公表

- 医療・ヘルスケア分野を軸に、いのち輝く医療・ヘルスケア先端都市の共創に向けて、技術、人間、哲学の研究ロードマップの作成・公表(技術開発だけでなく、テクノロジーの実装段階における生命倫理、個人の権利、幸福観の研究や議論も対象にする)【行政・経済界・アカデミア】

(3)高度医療を創造するネットワークの確立

- 世界的な研究者や大学のコア人材が連携するネットワークの形成【行政・アカデミア】
  - 例：在関西の大学、研究機関、海外大学、WHO などの国際機関と連携するネットワーク。高度医療の実装における個人の権利、生命倫理、幸福観を研究するネットワーク。以上に関連する国際会議、フォーラムの開催誘致。

- 大学・研究機関の知財を製品化・産業化につなげるベンチャー育成支援【行政・経済界・アカデミア】

- 高度医療分野ごとの製品化、産業化のネットワークの確立【行政・経済界】

(4)次世代のヘルスケア分野での社会・人への実証・実装

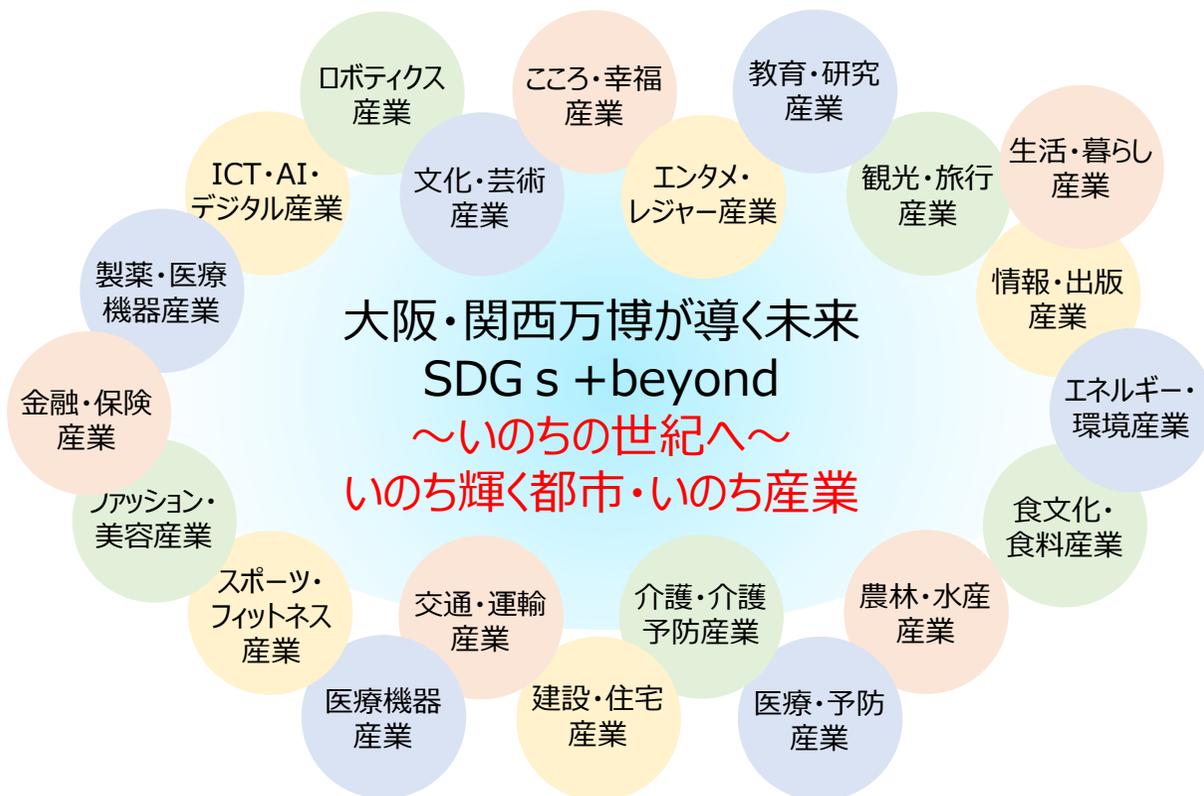
- 産学官民が連携できる実証・実装フィールド(リビングラボなど)を整備し、実証・実装を通じて次世代のヘルスケア分野の産業化と「いのち輝く」というキーメッセージの住民との共有を図る【行政】
- 実証・実装での多様なプレイヤー(海外企業、ベンチャー、スタートアップなど)の参画推進【行政、経済界】

おわりに

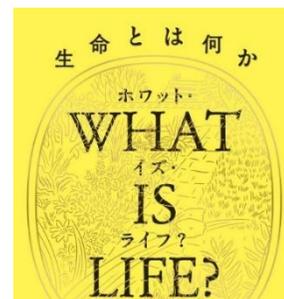
当地大阪の御堂筋は 100 年前に未来のメガトレンドを予測し計画されたが、今も大阪の大動脈として都市を支えている。先人の偉業には遠く及ばないが、当委員会の議論が KANSAI の発展に寄与することを願う。

## 2030年のSDGs達成とBeyond SDGsへ向けて

〈いのち産業のイメージ例〉



※イメージのため、すべて関連産業です



竹内薫 訳  
ポール・ナース 著  
生きているとはどういうことか？  
生命とは何なのだろう？  
人類の永遠の疑問にノーベル賞生物学者が答える。  
養老孟司氏、池谷裕二氏、更科功氏推薦



ご清聴  
有難うございました

**【お問い合わせ先】**

一般社団法人 夢洲新産業都市創造機構 事務局

電話：06-6136-8803

FAX：06-6136-8801

E-mail: [info@yumeshimakikou.com](mailto:info@yumeshimakikou.com)